

令和3年度

天下森スキー場等 整備全体計画書 (概要版)



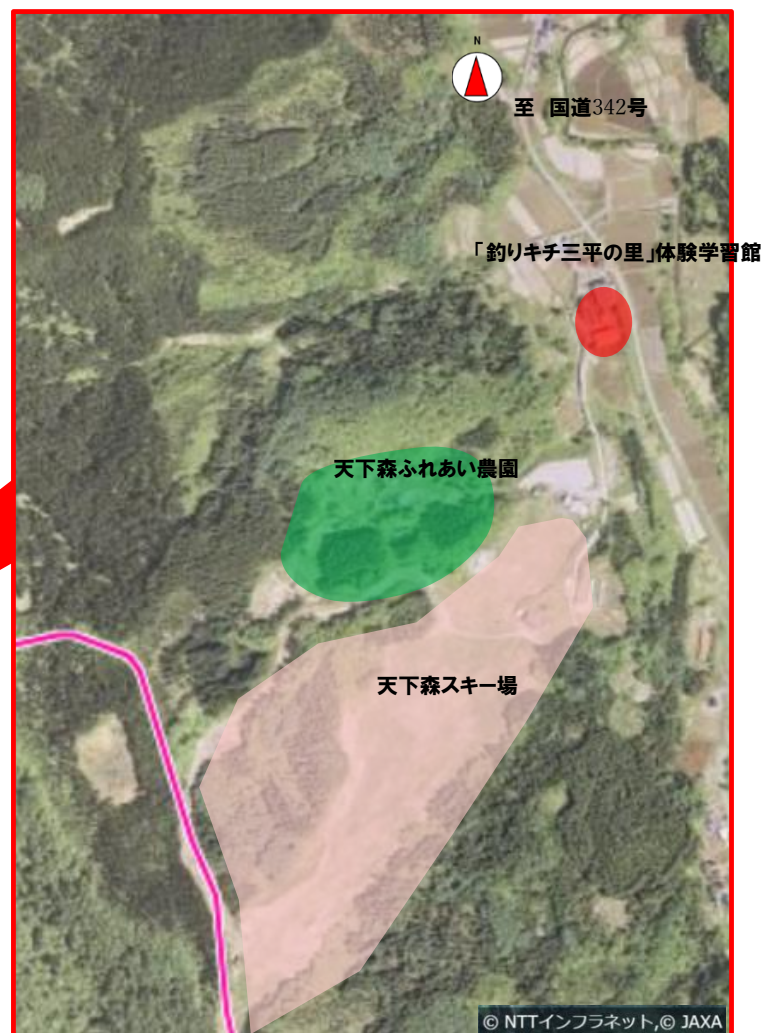
<目次>

- 1.事業概要/1
- 2.現状分析/2
- 3.整備全体計画/5
- 4.個別計画/9
- 5.事業計画/12
- 6.維持管理計画/13
- 7.夏虫沢ヒュッテ基本設計に向けて/13

増田地域にある天下森スキー場は、昭和57年12月にオープン。スロープ延長1,400mを有するファミリーゲレンデとして、多くのスキー愛好者から利用されている。

これまで、ゲレンデ拡張、ペアリフト新設、林間コース新設、夏虫沢ヒュッテ新設などを実施し、利便性の向上に努めてきたが、開設より39年が経過しており、施設や設備、圧雪車等の老朽化が著しく、大規模な施設整備が必要な時期にきている。

本計画は、天下森エリア(スキー場、ふれあい農園、釣りキチ三平の里体験学習館)において、施設をいかした滞在できるエリアとして、年間を通じ活用ができるソフト事業と、スキー場を中心とした各施設の改修整備の方向性を取りまとめた整備計画を作成し、地域づくり、観光・産業振興に資するものである。

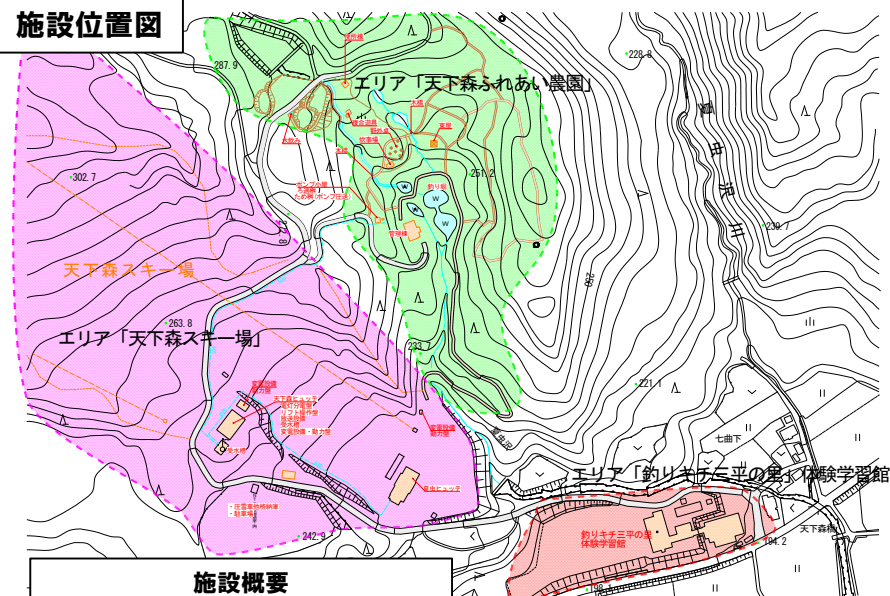


2. 現状分析

2

天下森スキー場内には、夏虫沢ヒュッテ、天下森ヒュッテの2つの建物があるものの、天下森ヒュッテは倉庫等としての利用に留まり、休憩施設として利用されていない。また、建設から25年以上経過する施設が多く、老朽化対策が必要となる。

施設位置図



施設概要

No	エリア	既存施設	施設概要
1	天下森スキー場	天下森ヒュッテ	・昭和58年12月竣工。(38年経過) ・地上2階 鉄骨造 カラー鉄板葺き ・建築面積 440.53㎡
2		夏虫沢ヒュッテ	・平成7年12月竣工。(26年経過) 323㎡ ・地上1階 木造 カラー鉄板葺き ・建築面積 323㎡2 (H13増築(附属) 39㎡) ・駐車場150台収容可能
3		ゲレンデ	・ゲレンデ 7ha ・スロープ延長 1,400m ・ロープウェイ 4基 ・アンバーリフト 11基 ・アイスター設備(平成5年度工。(26年経過) 氷解行) ・ベアリフト(平成5年(1993)に建設) ・リバーリフト(559.11.16完成 H13に休止) ・キュービクル(第二キュービクルは平成5年竣工。) 放送設備
		駐車場	
		管理施設	資材置き場、スノーモービル等の格納庫
		管理棟	・平成元年 ・地上1階 木造 ・建築面積152.59㎡
		トイレ	・(4つ)・880設備
4	天下森ふれあい農園	キャンプ施設	炊事棟、野外煮、テントサイト、東屋、トイレ
5		放送設備	放送設備
6	「釣りキチ三平の里」体験学習館 (国庫内地区交流センター)		・平成7年改築 ・地上2階 RC造 ・建築面積 814.80㎡
7			



天下森ヒュッテ(倉庫利用)

整備年表

天下森スキー場	天下森ふれあい農園	「釣りキチ三平の里」体験学習館
1982 年 (S57)		
ゲレンデ 7ha スロープ延長 1200 m ロープウェイ 4 基 アンバーリフト 11 基 圧雪車 1 台		
1983 年 (S58)		
天下森ヒュッテ完成(120 人収容)鉄骨造 2 階建 440.66 ㎡		
1984 年 (S59)		
ゲレンデ拡張 3ha 滑走式リフト(Tバーリフト)新設 586 m		
1986 年 (S61)		
ゲレンデ拡張 2ha スロープ 200m延長		
	1989 年(平成元年)	ふれあい農園 管理棟 完成
1993 年 (H5)		
ベアリフト電源供給用キュービクル設置		
1995 年 (H7)		1995 年 (H7)
夏虫沢ヒュッテ完成(120 人収容)木造平屋建 284.01 ㎡ 駐車場拡張 120 台 → 200 台 3,820 ㎡		増田東小学校 建物改修
1996 年 (H8)		
林間コース新設 810m 圧雪車 1 台(増車)		
	1999 年 (H11)	キャンプ施設整備 (屋外トイレ)
2001 年 (H13)		
夏虫沢ヒュッテ厨房増築 プラス 39.33 ㎡		
		2002 年 (H14)
		増田東小学校 廃校
		2010 年 (H22)
		体験学習館 開設 (建物用途変更)
2013 年 (H25)		
圧雪車 1 台(更新)		

2. 現状分析

3

施設現状と課題

No	エリア	既存施設	施設概要	問題点（施設管理者、指定管理者より）	対策の方向性
1		天下森ヒュッテ	・昭和58年12月竣工。（38年経過） ・地上2階 鉄骨造 カラー鉄板葺き ・建築面積 440.63㎡	①施設全体の経年劣化が著しく、現在は一般開放をしていない。 ②スノーモービルや資器材の物置になっている。 ③ナイター、放送設備の主電源があるので夏虫沢ヒュッテへ移設し、集中管理する。 ④第一キュービクルがあり、一部ナイターへ電源を供給。	①老朽化による撤去 ②撤去に伴う供給設備等見直し
2		夏虫沢ヒュッテ	・平成7年12月竣工。（26年経過）323㎡ ・地上2階 木造 カラー鉄板葺き ・建築面積 323㎡ ² （H13増築（厨房）39㎡） ・駐車場150台収容可能	①屋根が経年劣化により腐食が著しい。錆により雪の滑りが悪く、一度に大量の雪が落雪し、非常に危険。 ②ウッドデッキ部分が経年劣化により木材の破損が著しい。 ③休憩所の客席が少なく、スキー授業受け入れで四苦八苦している。（最大120席程度）日程調整を教育委員会に依頼している。 ※スキー授業の際は、3〜4回入れ替えをせざるを得ない状態。 混雑時には、コミュニティグラウンドを仮設の駐車場として使用している。	①アフターコロナへの対応 ②ゲレンデ展望性の確保 ③老朽設備の更新 ④管理動線、利用者動線確保
3	天下森スキー場	ゲレンデ	・ゲレンデ 7ha ・スロープ延長 1400m		
			・ロープトゥ 4基		
			・アンバーリフト 11基		
			・ナイター設備（平成5年竣工。（28年経過）水銀灯）	（製造中止になっている）。	①更新可能な設備への変更
			・ペアリフト（平成5年（1993）に建設。）	・点検台の腐蝕板が腐食により穴き、薄くなって危険。 ・胴体部等は塗装がはがれ腐食（錆）が著しい。 ・山頂降り場床が経年劣化により傷みが著しい。	①老朽設備の更新
			・Tバーリフト（\$59.11.16完成 H13に休止）	廃止	①廃止
			キュービクル（第二キュービクルは平成5年竣工。）	・現在のリフト設置時に設置。（28年経過） ・電気設備点検において東北電気保安協会より指摘あり。高圧停電事故に至る恐れがある等。（平成31年3月指摘）	①電気設備の更新（長寿命化）
		放送設備	・一斉放送で全体へのいきわたらない。（特に林間コース） ・メインスイッチが天下森ヒュッテにある ・アンプ、マイク、配線等の経年劣化		①放送範囲拡大 ②管理性の向上、老朽設備の更新
		駐車場	・現状は、150台収容可能である。混雑時には、コミュニティグラウンドを仮設の駐車場として使用している。		①利用実態に応じた規模確保
		管理施設	資器材及び圧雪車、スノーモービル等の格納庫 ・圧雪車はビニールハウスに1台格納。1台は野ざらし。 ・スノーモービルは天下森ヒュッテに格納。 ・資器材は天下森ヒュッテに格納。 ・ペアリフトの座席は、駐車場にシートで覆っている		①施設保全のための格納施設確保
4	天下森ふれあい農園	管理棟	・平成元年 ・地上1階 木造 ・建築面積152.59㎡	②トイレの水洗化（浄化槽設置） ③屋根煙突が雪下ろしに支障？ ④水道設備の水量不足の改修（夏虫ヒュッテへも水供給）	①利用者快適性の確保（水洗化） ②供給設備の機能確保
5		つり堀	池（4つ）、BBQ設備	①BBQ広場の設置（休止中の釣り堀を埋立て）簡易BBQ貸出 ②管理棟の接道機へ草地駐車場の舗装	①維持管理性の確保
6		キャンプ施設	炊事棟、野外卓、テントサイト、東屋、トイレ	④野外卓・道具撤去 ⑤木橋2基の改修 案内板、照明灯、水飲み場の老朽化	①老朽設備の更新。撤去
7		散策路	散策路	①木橋の老朽化	①老朽設備の撤去
8	「釣りキチ三平の里」体験学習館（租半内地区交流センター）		・平成7年改築 ・地上2階 RC造 ・建築面積 814.80㎡	①暑さ未対策（夏季宿泊利用の機能強化：エアコン） ②供給水不足（連泊時の給湯機能低下） ③漏水、外壁損傷 ④石油タンクの降雪未対応（屋根設備）	①老朽施設の更新



天下森ヒュッテ内・放送設備他



夏虫沢ヒュッテの老朽化



Tバーリフト（停止）・老朽化する受電施設



狭隘で、縦断勾配がきつく、冬期利用困難な動線

現状分析

課題

施設
現況

→2つのヒュッテのうち、天下森ヒュッテは倉庫として利用。
→建設から25年以上経過する施設が多く、老朽化対策が必要となる。
→機能保持のための更新。
→利用しにくさの解消。

土地
利用
・法規制

→天下森スキー場周辺は、森林（国有林（湯沢市側）、民有林）に囲まれた地域で、スキー場内は一部農業振興地域（採草牧草地）に指定されている。
→土砂災害警戒区域（地すべり、2035-0014）、砂防指定区域を含む区域である。
法規制：建築制限、地すべり誘発行為を制限。

利用
特性
ニーズ

→年間約2万人以上の利用がある。コロナ禍でも大きな減少なし。
→スキー授業は、市内小中学校が中心であり、年間4千人以上が利用。
→加えてほしい食堂メニュー：そば、増田の料理。
→秋田県南の身近なスキー場として続けてほしい。ヒュッテが狭い。

立地
特性

→大規模な公園から、離れた地域に所在。
→天下森スキー場の周辺に屋外スポーツ施設はない。
横手市として唯一のスキー場。
→自然体験可能な観光施設として類似施設はない。

①横手市唯一の身近なスキー場として継続するための機能維持

②自然体験可能な特性を生かした通年利用可能なエリア形成

③地域の個性（増田らしさ）とのつながり強化

④ウイズコロナニーズの対応
（アウトドア・身近・自家用車移動）

社会的
ニーズ

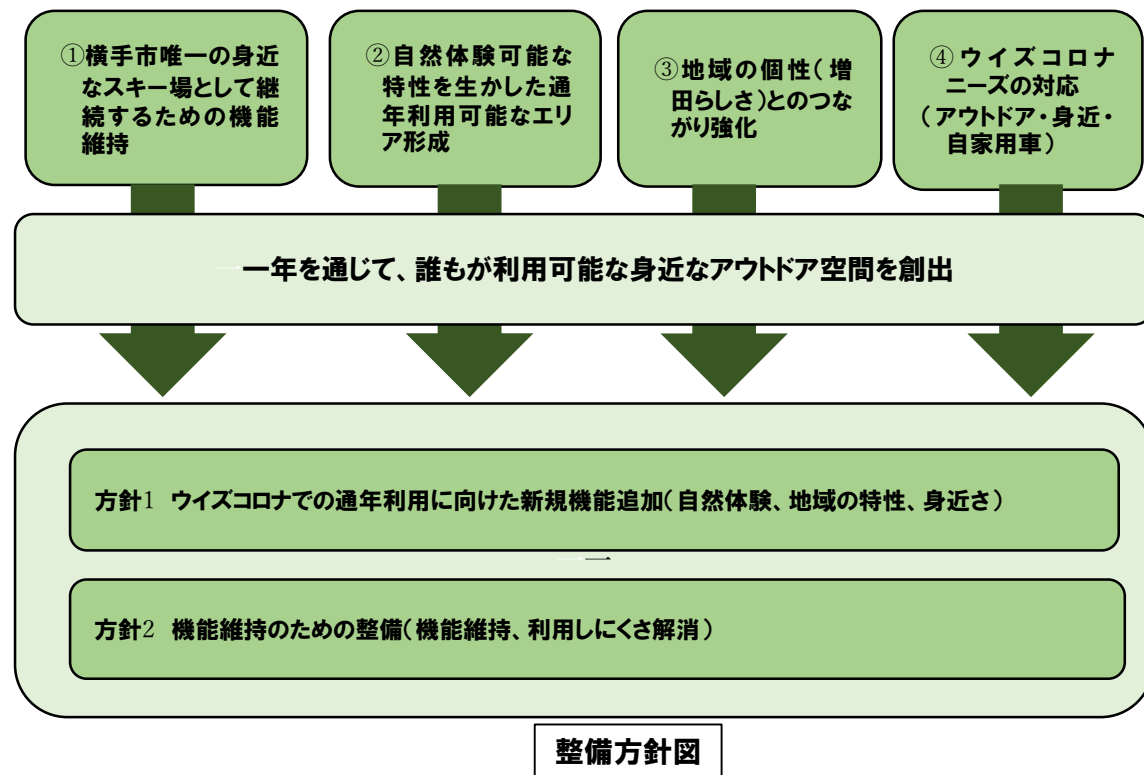
→余暇活動の潜在需要：「バーベキュー」「ピクニック、ハイキング、野外散歩」「オートキャンプ」などが高い。
→居住地域別参加率をみると、北東北地域では、温浴施設、ペット（遊ぶ、世話する）、読書などが、全国平均より高い。→ワーケーション、オートキャンプ、アウトドアニーズの高まり。
→国内旅行は「オフシーズン、近場、自家用車移動」。

天下森スキー場を含む天下森地域は、周囲を山々に囲まれた豊かな自然環境にあり、市民にとって身近で自然体験が可能な場所となっている。

冬期間は、スキー場の小中学生スキー授業などにより、一定数の利用を見込まれるが、夏期間はスキー場の活用がないこと、ふれあい農園の遊具や東屋、園路の老朽化、アクセス道路の困難さなどから、利用が低迷している。また、スキー場内には、倉庫としての利用に留まるヒュッテや、整備から25年以上経過し更新が困難となるものもあり、施設の持続性に課題を有している。

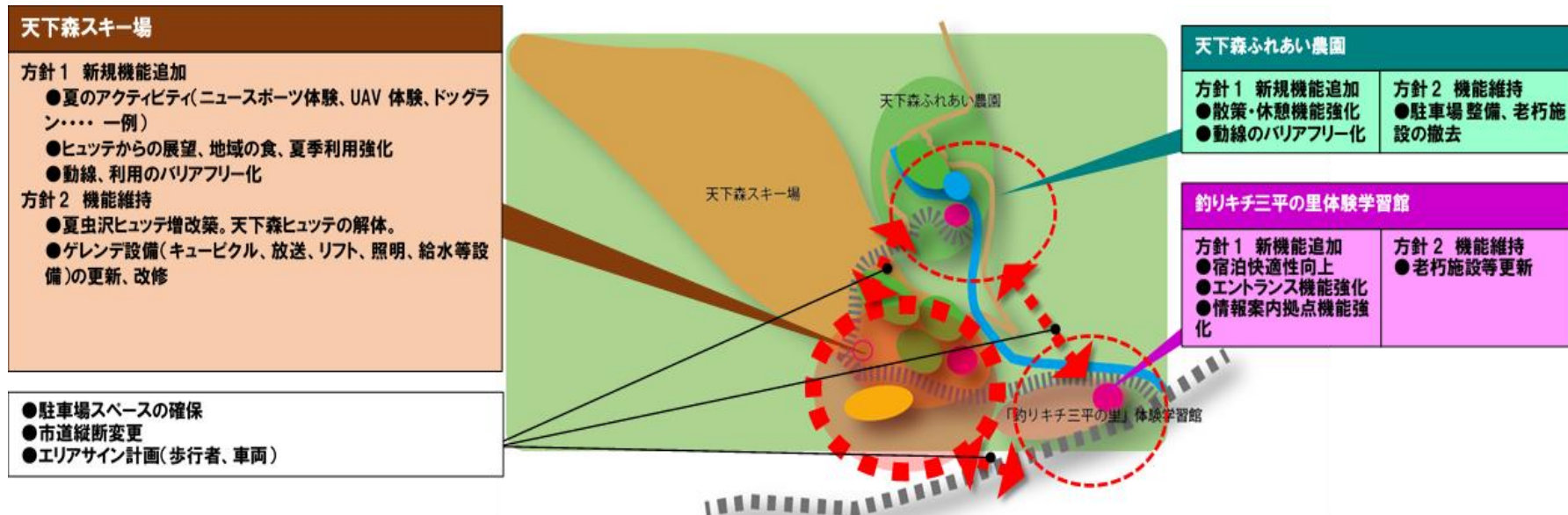
新型コロナウイルス感染の脅威が一段落した後のウイズコロナ社会ニーズにおいては、「アウトドア」「身近」「自家用車移動」などがキーワードとなり、スキー場等が有する資源を有効活用した、魅力向上による集客も期待できる。

横手市唯一のスキー場である特性や、自然豊かな地域らしさを生かし、一年を通じて、誰もが利用可能な身近な屋外レジャー空間を創出するものである。その実現のため、課題解決の2つの方針を策定する。



3. 整備全体計画

6



方針1 ウイズコロナでの通年利用に向けた新規機能追加(自然体験、地域の特性、身近さ)

ゾーン		立地特性	現在の利用	課題	対策の方向性	新たな利用の方向性
天下森スキー場		広大な緑の広場、北向き斜面 林間コース(10度) ゲレンデ7ha、スロープ1400m ナイター照明、放送設備、リフト完備 夏虫沢ヒュッテ(休憩、食事可能)	(主に冬) 冬期の積雪時スキー利用 小中学生のスキー授業 市民のスキー利用	通年利用(夏のアクティビティ) 利用者層の拡大(高齢者、障がい者を含めた)	夏のアクティビティ(ニュースポーツ体験、UAV体験、ドッグラン) ヒュッテからの展望、地域の食、夏季利用強化 動線、利用のバリアフリー化	①芝生広場(ターゲットバードゴルフ等) ②UAV離発着場、ターゲット ③ドッグラン ④ラジコンサーキット場 ⑤ヒュッテ:食機能(そば、発酵食、カフェ) ⑥ヒュッテ:展望、テラス、キッズスペース等 ⑦ヒュッテ:バリアフリー・多目的トイレ
周辺施設	「釣りキチ三平の里」体験学習館(狙半内地区交流センター)	宿泊可能施設 工芸体験、そば打ちなど体験可能 体育館利用	(主に夏) 屋外体験プログラム拠点(宿泊拠点として、他ゾーンと連携) 屋内体験プログラム(そば打ち、クラフト、わら細工等)	宿泊快適性向上 他ゾーンとの連携向上	宿泊快適性向上 エントランス機能強化 情報案内拠点機能強化	①利用案内所 ②全体案内板
	天下森ふれあい農園	釣り堀、釣った魚を食することが可能 林の中の散策路 東屋などの休憩施設 キャンプ施設等	(主に夏) 釣り堀の利用 バーベキュー 小中学生の林間コース利用 園路、キャンプ施設の利用低迷	低利用区域の利用拡大 自然体験をメインとした静的利用空間の創出 利用者層の拡大(高齢者、障がい者を含めた)	散策・休憩機能強化 動線、利用のバリアフリー化	①花木園、花畑(ユリの花) ②バリアフリー園路(車いす利用)
リンク(動線)		立地特性	現在の利用	課題	対策の方向性	新たな利用の方向性
駐車場、市道、サイン等		駐車場(現況約90台) 市道(最急こう配10%、掘割区間) エリア全体サインなし		駐車場の利便性、拡大 市道縦断線形改良 エリア全体サイン	駐車場スペースの確保 市道縦断変更 エリアサイン計画(歩行者、車両)	①駐車場拡大 ②市道改良 ③全体サイン計画

3. 整備全体計画

7

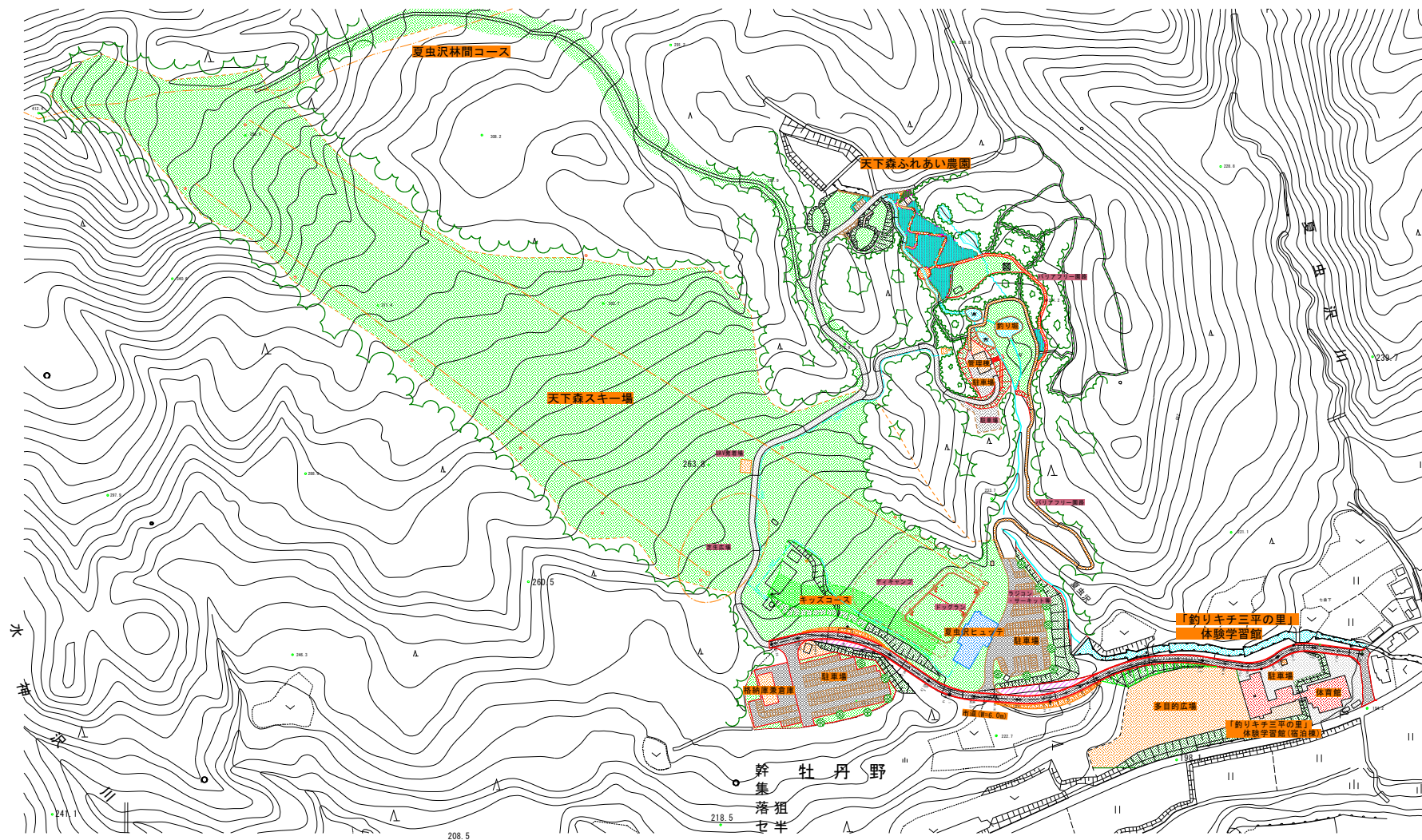
方針2 機能維持のための整備(機能維持、利用しにくさ解消)

ゾーン		施設設備	整備内容
天下森スキー場	夏虫沢ヒュッテ	夏虫沢ヒュッテ建物	①スキー授業に対応した席数確保(200人程度)、キッズスペース確保 ②スキースクールの利用スペース確保(ヒュッテ内) ③天下森ヒュッテ解体に伴う放送設備、リフト、ナイター照明機能の取り込み ④水道水確保の検討、受水槽等(天下森ヒュッテ内の受水槽撤去)
		夏虫沢ヒュッテ設備	⑤第二キュービクルの更新(天下森ヒュッテ第一キュービクル)の撤去のため ⑥圧雪車の格納庫・資材格納庫・駐車場の設置(グラウンド敷地内)
		夏虫沢ヒュッテ駐車場	⑦圧雪車動線の確保 ⑧駐車場出入口の勾配緩和及び視認性の確保
	天下森ヒュッテ	天下森ヒュッテ建物	①建物解体撤去 ②アスベスト調査 ③解体に伴い収納されている機材格納のため新規格納場所確保(単独かヒュッテ内等検討)
		天下森ヒュッテ設備	④放送設備撤去 ⑤リフト・照明の操作盤撤去 ⑥キュービクルの撤去(ナイター・Tバーリフト・ヒュッテ内) ⑦受水槽の撤去移設
		ゲレンデ	①山頂リフト昇降床板補修 ②天下森ヒュッテ撤去に伴いキッズコースの延伸 ③ナイター照明をLED照明へ更新 ④Tバーリフトの撤去 ⑤スキースクール詰所、撤去または、ヒュッテ内取り入れ

ゾーン		施設設備	整備内容
周辺施設	「釣りキチ三平の里」体験学習館(狙半内地区交流センター)	宿泊棟	①各部屋にエアコンの設置(部屋ごと単独) ②受水槽容量不足のため受水槽の拡充 ③スキー場の受水槽からグラウンドまでの給水管整備
		体育館	①外壁の補修リフォーム ②屋上の防水工事 ③宿泊棟と体育館の渡り廊下接合部の防水対策 ④屋外石油タンクの屋根掛け ⑤吊り天井の改修 ⑥体育館のトイレ便器の洋式化
	天下森ふれあい農園		①管理棟の接道横へ草地駐車場の舗装 ②老朽施設となる野外卓・遊具撤去

リンク(動線)	施設設備	整備内容
駐車場、市道、サイン等	接続道路改良	①幅員の確保、(W=6.0m) ②視認性の確保のため線形改良(起点より圧雪車・駐車場設置予定のグラウンド)

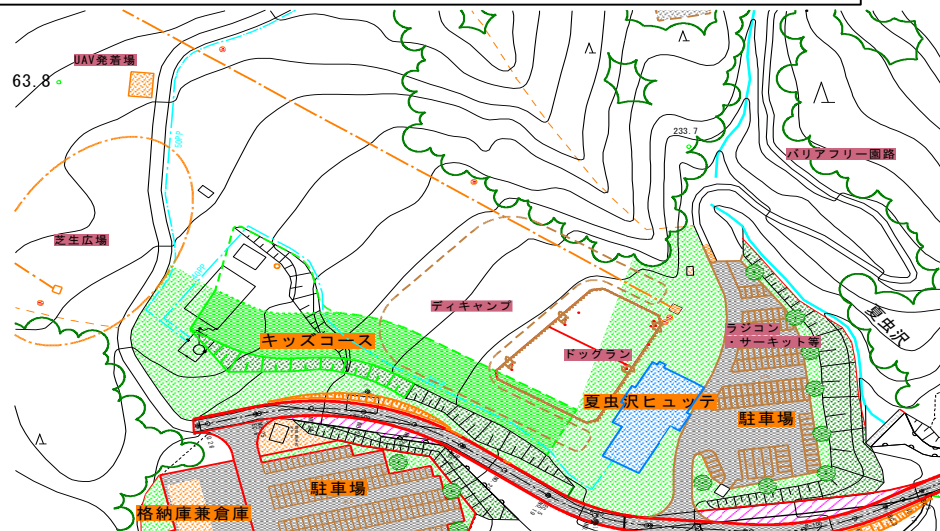
整備全体図 (※夏場利用の整備メニューは一例)



4. 個別計画

9

天下森スキー場周辺整備計画(※夏場利用の整備メニューは一例)



夏虫沢ヒュッテ整備イメージ

ゾーン		施設設備	方針1 ウイズコロナでの通年利用に向けた新規機能追加(自然体験、地域の特性、身近さ)整備内容	方針2 機能維持のための整備(機能維持、利用しにくさ解消)整備内容
天下森スキー場	夏虫沢ヒュッテ	夏虫沢ヒュッテ建物	1-1 食機能強化(そば、発酵食、カフェ等) 1-2 展望、テラス等 1-3 バリアフリー・多目的トイレ	2-1 スキー授業に対応した席数確保(200人程度)、キッズスペース確保 2-2 スキースクールの利用スペース確保(ヒュッテ内) 2-3 天下森ヒュッテ解体に伴う放送設備、リフト、ナイター照明機能の取り込み 2-4 既存建物解体撤去 2-5 水道水確保の検討、受水槽等(天下森ヒュッテ内の受水槽撤去)
		夏虫沢ヒュッテ設備 駐車場	1-4 ラジコンカーサーキット(夏場利用)	2-6 第二キュービクルの更新(天下森ヒュッテ第一キュービクル)の撤去のため 2-7 圧雪車1台、スノーモービル1台更新 2-8 圧雪車の格納庫・資材格納庫・駐車場の設置(グラウンド敷地内)
	天下森ヒュッテ	天下森ヒュッテ建物		2-9 建物解体撤去 2-10 アスベスト調査
	ゲレンデ	ゲレンデの改修	1-5 芝生広場(ターゲットバードゴルフ等)(夏場利用) 1-6 デイキャンプ場 1-7 UAV離発着場(着陸 ターゲット) 1-8 ドッグラン	2-11 山頂リフト昇降床板補修 2-11 天下森ヒュッテ撤去に伴いキッズコースの延伸 2-17 ナイター照明をLED照明へ更新 2-18 Tバーリフトの撤去

4. 個別計画

10

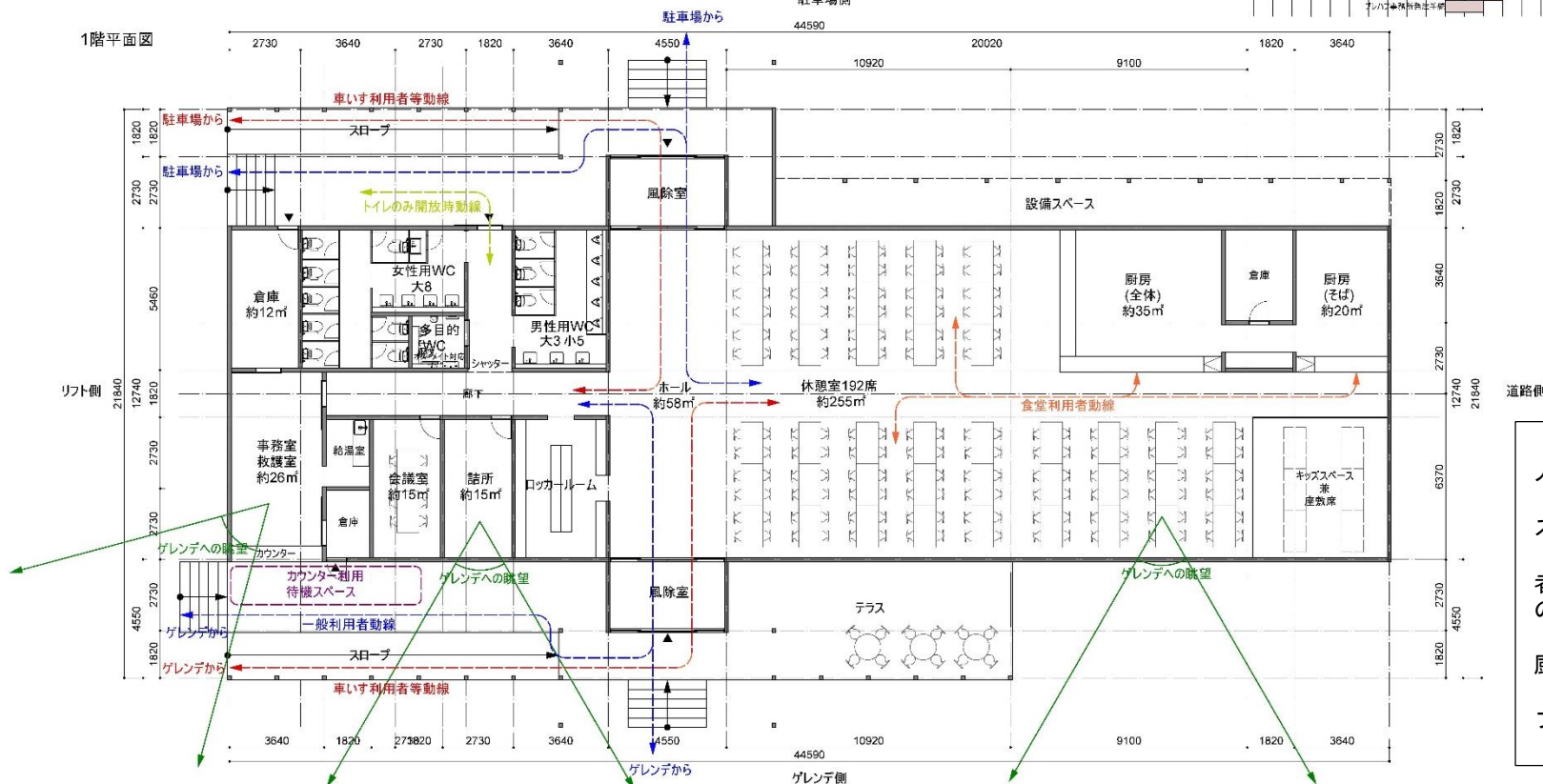
夏虫沢ヒュッテ整備計画

想定工期



夏虫沢ヒュッテ 平面図

1階平面図



- ・休憩室の利用200人想定
- ・スキースクール活用スペース確保
- ・管理動線、一般利用者・車いす利用者等動線の確保
- ・食機能強化に向けた厨房強化、
- ・テラス設置によるカフェ利用棟
- ・キッズスペース設置

夏虫沢ヒュッテ 立図

グレンデ側立図

道路側立図

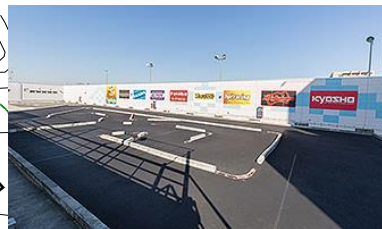
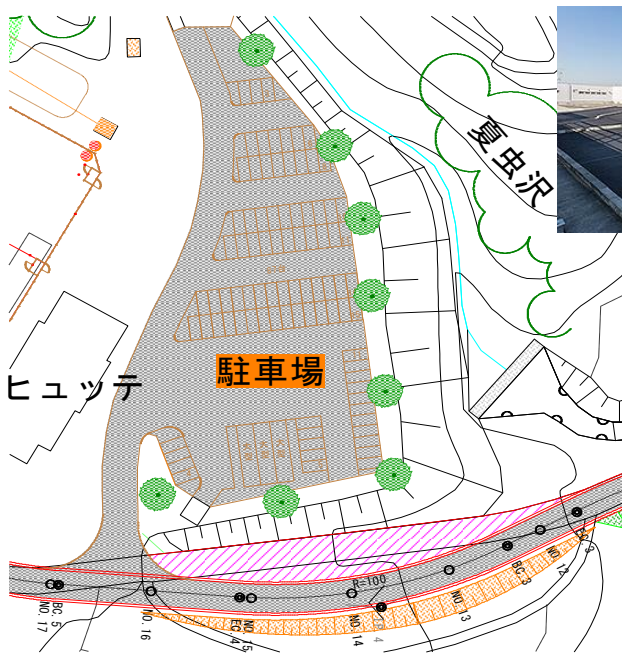
駐車場側立図

リフト側立図

4. 個別計画

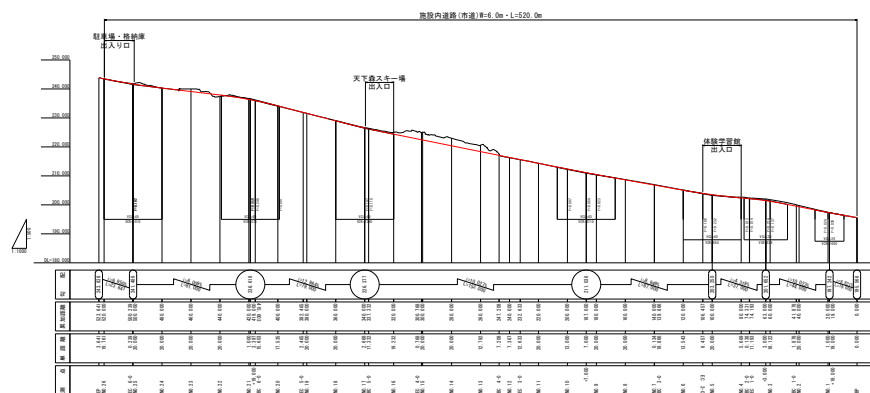
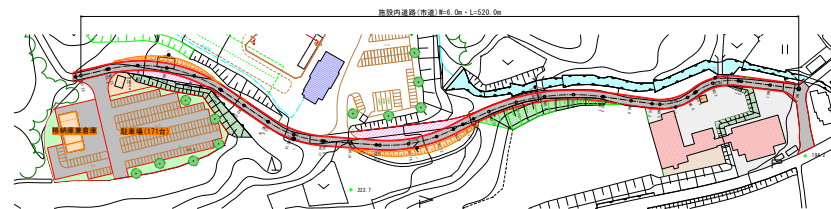
11

夏虫沢ヒュッテ駐車場の整備及び夏場利用(一例)

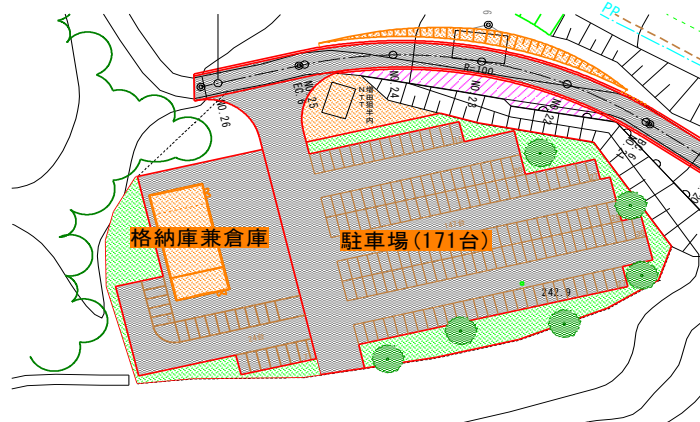


TamTam HOBBYSHOP
<https://www.hs-tamtam.jp/circuit>

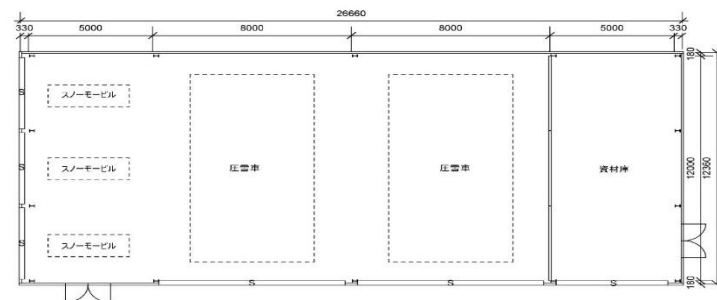
市道の改良



新規駐車場の整備及び夏場利用



格納庫平面図



床面積
 約330㎡約100坪

事業メニューと概算工事費

単位：百万円

ゾーン		施設設備	方針1 ウイズコロナでの通年利用に向けた新規機能追加 (自然体験、地域の特性、身近さ) 整備内容	方針2 機能維持のための整備 (機能維持、利用しにくさ解消) 整備内容	概算金額 (税込み)	概算委託金額 (税込み)	実施時期			備 考	
							R4年度	R5～6年度	R7～8年度		
天下森スキー場	夏虫沢ヒュッテ	夏虫沢ヒュッテ建物	1-1 食機能強化(そば、発酵食、カフェ等)	2-1 スキー授業に対応した席数確保(200人程度)	414	42	○	○			
			1-2 展望、テラス、キッズスペース等	2-2 スキースクールの利用スペース確保(ヒュッテ内)							
			1-3 バリアフリー・多目的トイレ	2-3 天下森ヒュッテ解体に伴う放送設備、リフト、ナイター照明機能の取り込み							
		夏虫沢ヒュッテ設備、 駐車場		2-4 建物解体撤去	9			○			
				2-5 水道水確保の検討、受水槽等(天下森ヒュッテ内の受水槽撤去)	5		○	○			
				2-6 第二キュービクルの更新(天下森ヒュッテ第一キュービクル)の撤去のため	71	6	○				
	天下森ヒュッテ	天下森ヒュッテ建物		2-7 圧雪車の1台、スノーモービル1台の更新	43			○			
				2-8 圧雪車の格納庫・資材格納庫・駐車場の設置(グラウンド敷地内)	71	2		○			
				2-11 建物解体撤去(設備の撤去等を含む)	56					○	
		ゲレンデ	ゲレンデの改修		2-12 アスベスト調査	1			○		
				1-5 山頂リフト昇降床板補修	2-18 山頂リフト昇降床板補修	1			○		
				1-7 芝生広場(ターゲットバードゴルフ、グラウンドゴルフ等)(夏場利用)	2-19 天下森ヒュッテ撤去に伴いキッズコースの延伸	11					○
	1-8 UAV離発着場、ターゲット			2-20 ナイター照明をLED照明へ更新	29		○				
	1-9 ドッグラン			2-21 Tバーリフトの撤去	5					○	
				2-22 夏場利用各種施設備品(ターゲットバードゴルフ・ラジコン操作台)	2					○	
			2-23 芝生広場(芝生500m2程度)・ドッグラン(フェンス他180m程度)	11					○		
			2-24 ゲレンデ安全管理設備等備品	5				○			
		小 計				734	76				
リンク(動線)	施設設備	方針1 ウイズコロナでの通年利用に向けた新規機能追加 (自然体験、地域の特性、身近さ) 整備内容	方針2 機能維持のための整備 (機能維持、利用しにくさ解消) 整備内容							備 考	
駐車場、市道	接続道路改良	1-1 駐車場拡大	2-1 幅員の確保、(W=6.0m・L=520.0m)	97	11		○	○			
		1-2 市道改良	2-2 視認性の確保のため線形改良(起点より圧雪車・駐車場設置予定のグラウンド)	37			○	○			
小 計				134	11						
ゾーン	施設設備	方針1 ウイズコロナでの通年利用に向けた新規機能追加 (自然体験、地域の特性、身近さ) 整備内容	方針2 機能維持のための整備 (機能維持、利用しにくさ解消) 整備内容							備 考	
周辺施設	「釣りキチ三平の里」 体験学習館 (天下森ふれあい農園)	1-1 利用案内所	エアコン設置、受水槽拡充	112	17		○				
		1-2 全体案内板	体育館外壁リフォーム、屋上防水工事等				○				
			体育館吊り天井改修等、トイレ洋式化				○				
		1-3 ふれあい農園花木園・花畑・バリアフリー園路ほか	草地駐車場の舗装、遊具撤去ほか							○	
改修事業費合計				980	104						
事業総額					1,084						

(1) 予防保全施設の維持管理

維持管理方法の区分として、予防保全型管理、予測保全型管理、事後保全型管理の3つの管理方法がある。スキー場及びその周辺施設における建築物や工作物等施設については、施設の構造に基づいて、予防保全、予測保全、事後保全の各管理種別を明確にして、日常的な点検及び補修更新等を図ることで、施設をできるだけ長く利用できるような維持管理を行っていくことが必要となる。

(2) 管理運営計画

天下森スキー場及び周辺施設の運営は、指定管理者制度による運営を実施している。

夏場利用の強化を図っていく中で、イベント運営及びヒュッテにおけるそばの提供などが新しい取り組みとして考えられる。

また、「釣りキチ三平の里体験学習館」をはじめとする周辺施設との連携を図りながら、夏場にも利用できる施設運営及びイベント開発などを進めて魅力あるエリアづくりを図る。

(1) 屋根形状について

本計画では、屋根形状について極力自然落雪を抑えたいことから、緩勾配の屋根としている。積雪時の雪下ろし作業などの新たな維持管理の負担なども予測されることから、緩勾配か積極的に自然落雪を促すか屋根形状について、検討していく。

(2) 休憩所のそば提供エリアの夏場営業について

休憩所において、夏場のそば提供エリア単独営業の可能性があるため、管理の仕方、ゾーニングや席の仕様等についても、検討していく。